

令和元年7月25日

会員各位

鎌倉市医師会会長 山口 泰
地域保健担当理事 蔵並 貴子
宮下 明

地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための
関係法律の整備に関する法律に規定する介護保険法の一部改正について

神奈川県医師会を通じて通知がまいりましたのでお知らせいたします。
こちらは鎌倉市医師会HPにもアップロードしてありますので、ご確認ください。

厚生労働省老健局長
(公印省略)

「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための
関係法律の整備に関する法律」に規定する介護保険法の一部改正
について

「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律」(令和元年法律第26号。以下「第9次分権一括法」という。)については、令和元年5月31日に成立し、6月7日に公布されたところ
です。この第9次分権一括法において介護保険法(平成9年法律第123号)
の一部が改正され、令和3年4月1日から施行されます。

この改正の趣旨及び主な内容は下記のとおりですので、御了知の上、管内市
区町村を始め、関係者、関係団体等に対し、その周知徹底を図るとともに、そ
の運用に遺漏のないようお願いいたします。

記

第1 改正の趣旨

現在、中核市における業務管理体制の整備及び監督の権限は、地域密着
型サービスのみを行う介護事業者に係るものが対象となっており、事業者
に対する業務管理体制に係る指導権限(都道府県)とサービス事業所の指
定及び指導・監督権限(中核市)が分かれているところである。

これについて、今般の権限移譲によって、中核市における介護サービス
事業所の指定及び指導・監督権限との一元化を図ることとするものである。
これにより、事業所への立入検査と事業者本部への業務管理体制の包括的
な確認が可能となり、迅速かつ効果・効率的な監督に資することとなる。

第2 改正内容

指定又は許可を受けている介護サービス事業所又は施設の所在地が一の中核市の区域内にある介護事業者に係る業務管理体制の整備に関する事務・権限を都道府県から中核市に移譲する。

第3 経過措置

- 1 施行日前に、改正前の介護保険法（以下「旧介護保険法」という。）の規定によりされた命令等の行為又は届出等の行為で、施行日において、命令等の行為又は届出等の行為に係る行政事務を行うべき者が異なる場合は、改正後の介護保険法（以下「新介護保険法」という。）の規定によりされた命令等の行為又は届出等の行為とみなす。
- 2 施行日前に旧介護保険法の規定により都道府県に対し、届出その他の手続をしなければならない事項で、施行日前にその手続がされていないものについては、中核市に対して届出その他の手続をしなければならない事項についてその手続がされていないものとみなして、新介護保険法の規定を適用する。

第4 施行期日

令和3年4月1日

以上